

3/21
(水)

新一年生の交通安全のために

新一年生の交通安全に寄与しようと、ランドセルカバー、防犯啓発用下敷き、交通安全反射材付体育着入れの贈呈式がありました。

これは、浦添市交通安全推進協議会、暴力団壊滅浦添市民対策会議、浦添地区交通安全協会から、市内の新一年生全員に寄贈されたものです。

贈呈式で市長は、「一年生は希望と新しい友達との出会いで不安が入り混じっての登校だと思います。私たちはそういった子どもたちを守っていく義務があります」と挨拶しました。



3/24
(土)

歴代王、いざ勝負！

浦添中学校区内に住む子ども達や地域住民が、浦添の歴史文化を学びながら、学校や自治会の枠を超え交流しようと、「浦添グスク祭り」（主催：浦添グスク祭り実行委員会）が初開催されました。

祭りでは、三大王統（舜天・英祖・察度）の各チームに分かれて「三大王統競争」が行われました。これは、それぞれの王の像や旗頭を運びながら、浦添城跡内を競争するもので、会場からは歓声が飛び交うなど、にぎわいを見せました。

また、会場では、自治会などによる舞台発表や、子ども達による王様姿の自画像の展示なども行われ、祭りを盛り上げました。



3/29
(木)

市と連携して救急医療

平成18年に、本市と「災害・事故等における医師等の現場派遣に関する協定書」を締結している浦添総合病院において、「ドクターカーシステム」が今年4月より運用開始となり、その開始式が同病院で行われました。

このシステムにより、心肺停止等の生命に関わる事案が発生した場合、救急車と同時に病院からドクターカーを出動させ、現場で救急隊と医師が合流し、病院内と同等の救命処置を現場で行うことができます。

出動時は、赤色灯とサイレンを鳴らし、同病院より緊急走行しますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



3/17
(土)

浦添城跡の歴史をまなぶ

浦添城跡復元整備事業に伴う、発掘調査現場の見学会が開催され、約140人の参加がありました。

今回発見された、14～15世紀頃とみられる石積みの城壁や高麗系瓦、青磁などについて担当職員の説明を熱心に聞き入る、多くの参加者の姿が見られ、関心の高さをうかがわせました。また、「NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会」による浦添グスク・浦添ようどれのガイドも同時に開催されました。

参加者は「初めて来たが、石積みの城壁など珍しいものが多く、驚きました。これからも浦添市内の歴史を学べる場所を訪ねたい」と感想を述べました。

市では、今後、発掘調査の成果を基に城壁の復元を行う予定です。



4/2
(月)

浦添市市民相談員および法律相談員委嘱状交付式

今年度の浦添市市民相談員および法律相談員の委嘱状が、市長代理の吉村清副市長より手渡されました。副市長は、「一昔前と違って今は、多種多様な要望や価値観の違いがあります。一つ一つの声を聞いて、市民の日々の暮らしを良くできるように期待しています」と挨拶しました。

【法律相談嘱託員・弁護士相談】城間博 野村嘉伸 長谷川徹也 中村昌樹【法律相談嘱託員・司法書士相談】仲村盛男【市民相談嘱託員】大城幸男 儀間久子（順不同、敬称略）※相談日時等については、21ページのお知らせページをご参照ください。

話題がいっぱい
ながゆくい



3/1
(木)

浦添市墓地基本計画策定答申

昨年11月に、市長から浦添市墓地基本計画について諮問を受け、浦添市墓地行政検討委員会で調査および審議が行われ、3月1日に同検討委員会の田名真之委員長より市長に答申がありました。

浦添市墓地基本計画は、人口および世帯増加によって個人墓地および住宅地が急増している中で、地域の住環境や都市計画に影響がないように、適切な墓地行政の推進を目的として策定されています（市ホームページで公開しています）。また、パブリックコメントおよびアンケート結果を踏まえ、市民からの意見を反映した内容となっています。